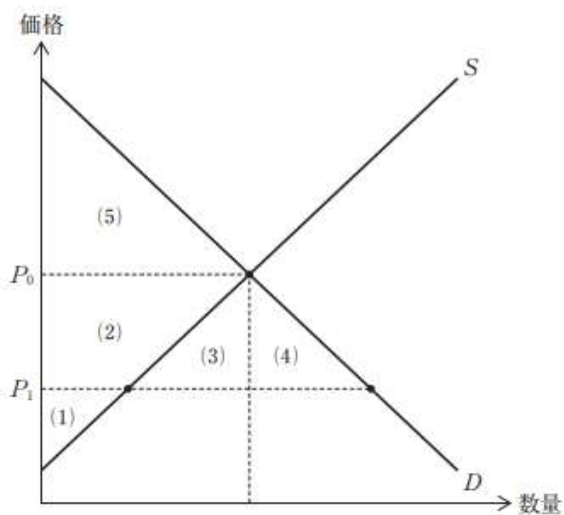


SHEET5 余剰分析

レベル 1

R3 第 23 問

自由貿易協定によって、それまで輸入が禁止されていた果物の輸入が自由化されることになった。下図には、この果物に関する国内市場の需要曲線 D と供給曲線 S が描かれている。輸入自由化によって、国内価格が P_0 から国際価格 P_1 になったときの消費者余剰と生産者余剰に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



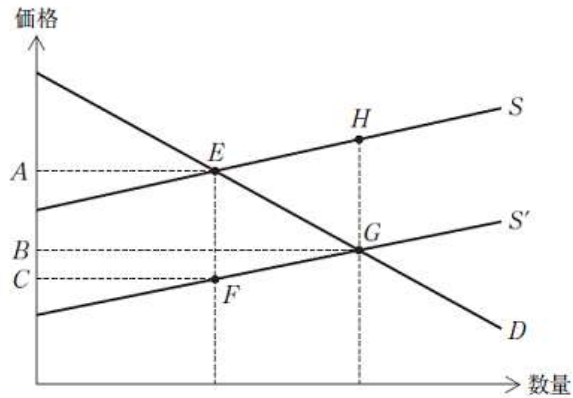
〔解答群〕

- ア 自由貿易協定によって、消費者余剰は(3)と(4)の分だけ増加する。
- イ 自由貿易協定によって、生産者余剰は(1)よりも大きくなり、消費者余剰は(5)よりも大きくなる。
- ウ 自由貿易協定による、生産者から消費者への再分配効果は(1)と(2)である。
- エ 自由貿易協定による生産者余剰の減少分は(2)である。
- オ 自由貿易協定による総余剰の増加分は、(2)、(3)を加えたものである。

R2 第 17 問

農業保護を目的とした農家への補助金政策の効果を考える。下図において、Dは農産物の需要曲線、Sは補助金交付前の農産物の供給曲線、S'は補助金交付後の農産物の供給曲線である。政府は、農産物1単位当たりEFまたはHGの補助金を交付する。

この図に関する記述として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。



- a 政府が交付した補助金は四角形ACFEである。
- b 補助金の交付によって、消費者の余剰は四角形ABGEだけ増加する。
- c 補助金の交付によって、総余剰は三角形EFGだけ増加する。
- d 補助金の交付によって、農家の余剰は四角形BCFGだけ増加する。

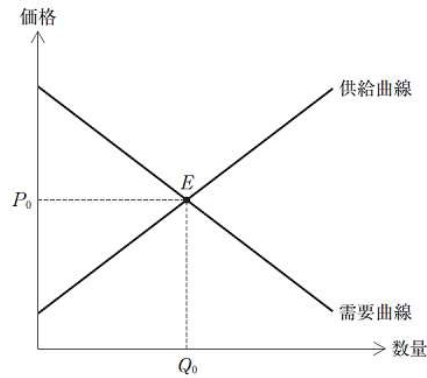
〔解答群〕

- ア a と b
- イ a と c
- ウ b と c
- エ b と d

R1 第 10 問

市場取引から発生する利益は、「経済余剰」といわれる。この経済余剰は、売り手にも買い手にも生じ、売り手の経済余剰は「生産者余剰」、買い手の経済余剰は「消費者余剰」と呼ばれる。

下図に基づき、需要曲線または供給曲線のシフトに伴う余剰の変化に関する記述として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。なお、点 E が初期の均衡を示している。



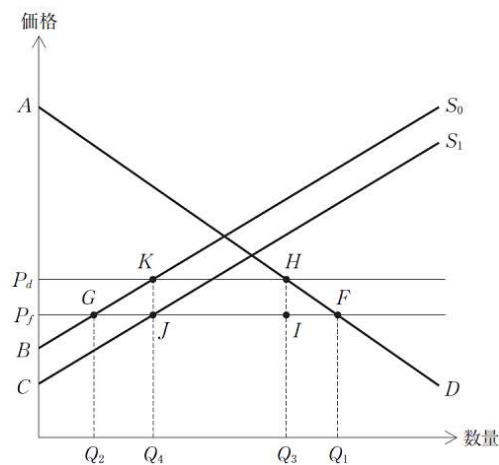
- a 所得の増加によって需要曲線が右方シフトすると、生産者余剰は減少する。
- b 技術進歩によって供給曲線が右方シフトすると、消費者余剰は増加する。
- c 好みの変化によって需要曲線が左方シフトすると、生産者余剰は減少する。
- d 原材料費の上昇によって供給曲線が左方シフトすると、消費者余剰は増加する。

〔解答群〕

- ア a と b イ a と d ウ b と c エ c と d

R1 第 18 問(1)

下図は、産業保護という観点から、輸入関税と生産補助金の効果を描いたものである。輸入関税をかける場合、この財の国内価格は P_f から P_d へと上昇する。また、生産補助金を交付する場合、この財の供給曲線は S_0 から S_1 へとシフトする。この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



（設問 1）

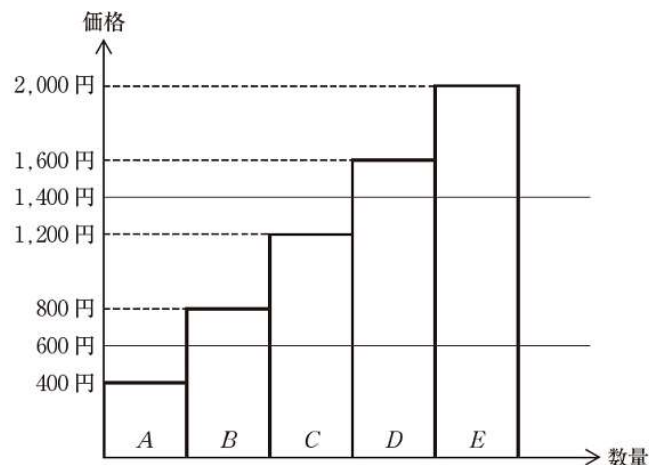
輸入関税をかけた場合、また、生産補助金を交付した場合の需要量と供給量に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ア 輸入関税をかけた場合の需要量は Q_1 である。
- イ 輸入関税をかけた場合の供給量は Q_2 である。
- ウ 生産補助金を交付した場合の需要量は Q_3 である。
- エ 生産補助金を交付した場合の供給量は Q_4 である。

H30 第 10 問

生産者余剰について考える。いま、A～E の 5 つの企業から構成される社会を想定する。下図では、それぞれの企業が、生産を継続するために最低限回収しなければならないと考える金額（生産物 1 単位当たり）が示されている。

この図に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

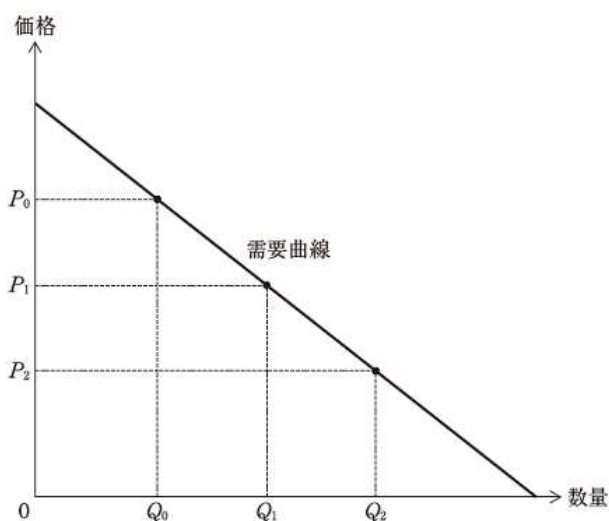


〔解答群〕

- ア 市場価格が 400 円を上回れば、5 つの企業すべてが生産を行う。
- イ 市場価格が 600 円の場合、3 つの企業は生産を行わないので、社会全体の生産量は 2 単位である。
- ウ 市場価格が 1,400 円の場合、社会全体の生産者余剰は 1,800 円である。
- エ 市場価格が 1,600 円を上回ると、生産を行うのは E のみである。

H29 第 10 問

価格と消費者余剰について考える。下図に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



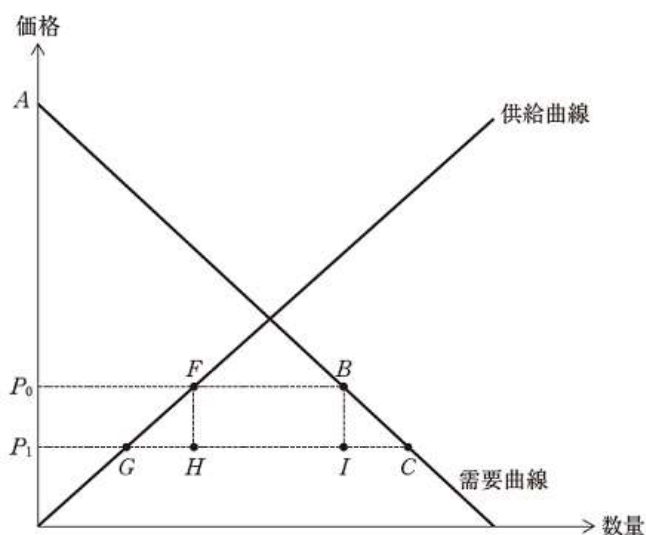
[解答群]

- ア 価格が P_0 のとき、消費者が Q_0 を選択する場合の消費者余剰は、消費者の支払意思額よりも大きい。
- イ 価格が P_1 のとき、消費者が Q_1 を選択する場合の消費者余剰は、 Q_0 を選択する場合の消費者余剰よりも大きい。
- ウ 価格が P_2 のとき、消費者が Q_1 を選択する場合の消費者余剰は、 Q_2 を選択する場合の消費者余剰よりも大きい。
- エ 価格が 0 のとき、実際の支払額は 0 なので、消費者が Q_0 や Q_1 を選択しても、消費者余剰は得られない。

H29 第 21 問

昨今、WTO を中心とする多国間交渉はうまくいかず、FTA のような比較的少数の国の間の交渉が増加している。

下図は、関税引き下げによって輸入品の価格が P_0 から P_1 に下落する場合を描いている。この図に関する説明として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



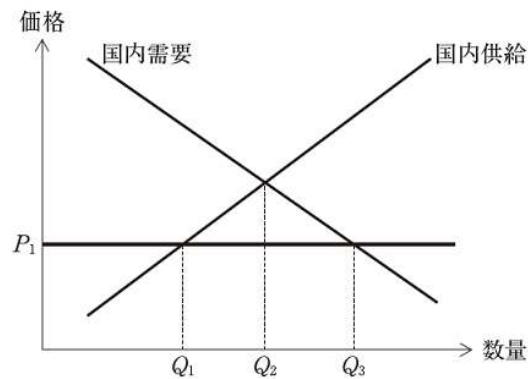
[解答群]

- ア 関税引き下げ後、国内の生産者余剰は、引き下げ前より三角形 FGH の分だけ減少する。
- イ 関税引き下げ後、消費者余剰は、関税引き下げ幅に輸入量 CG を乗じた分だけ増加する。
- ウ 関税引き下げによる、国内の生産者から消費者への再分配効果は、四角形 P_0FGP_1 である。
- エ 関税引き下げによる貿易創造効果は、四角形 BCGF の部分である。

H27 第 21 問

TPP 協定では、関税引き下げが交渉されている。

いま、ある農産物の輸入には禁止的高関税が従量税で課されており、輸入が起こらない状況であるとする。そこに、当該農産物の輸出国との間で貿易交渉が行われ、関税が大幅に引き下げられた結果、この農産物は図中の P_1 の価格で輸入されることとなった。関税が引き下げられた場合の余剰と輸入量に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

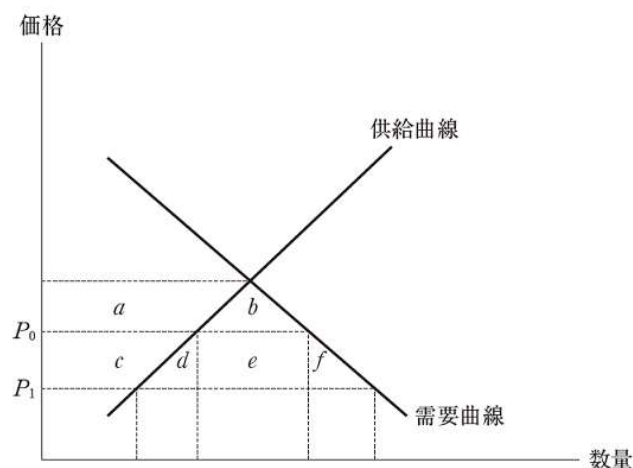


[解答群]

- ア 生産者余剰は減少し、消費者余剰は増加するものの、両者の余剰合計は変わらない。また、輸入量は Q_3 となる。
- イ 生産者余剰は減少し、消費者余剰は増加するが、両者の余剰合計は増加する。また、輸入量は「 $Q_3 - Q_1$ 」となる。
- ウ 生産者余剰は増加し、消費者余剰は減少するが、両者の余剰合計は減少する。また、輸入量は Q_1 となる。
- エ 生産者余剰は増加し、消費者余剰は減少するものの両者の余剰合計は変わらない。また輸入量は「 $Q_3 - Q_2$ 」となる。

H26 第 21 問

関税撤廃の経済効果を、ある小国の立場から、ある 1 財の市場のみに注目した部分均衡分析の枠組みで考える。下図は当該財の国内供給曲線と、当該財に対する国内需要曲線からなる。関税撤廃前には当該財の輸入に関税が課され、当該財の国内価格は P_0 であり、関税収入は消費者に分配されていた。関税が撤廃されると当該財の国内価格は P_1 となった。関税撤廃による変化に関する記述として最も適切なものを下記の解答群から選べ。



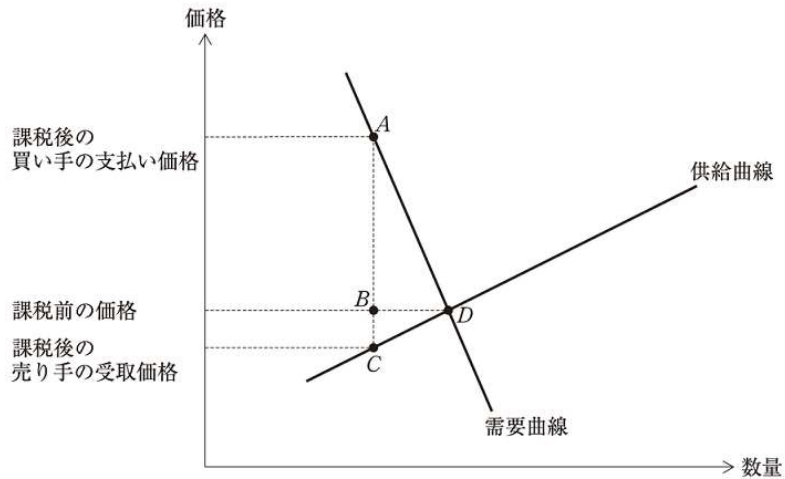
[解答群]

- ア 関税収入は e だけ減少する。
- イ 消費者余剰と生産者余剰の合計は $b + d + e + f$ だけ増加する。
- ウ 消費者余剰は c だけ増加する。
- エ 生産者余剰は $d + e + f$ だけ減少する。

H24 第 14 問

下図には、需要曲線と供給曲線が描かれており、市場で決まる「課税前の価格」は D 点によって与えられる。ここで、当該財へ政府が税を課すと、「課税後の買い手の支払い価格」は A 点で与えられ、「課税後の売り手の受取価格」は C 点で与えられることになるとする。

この図の説明として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



[解答群]

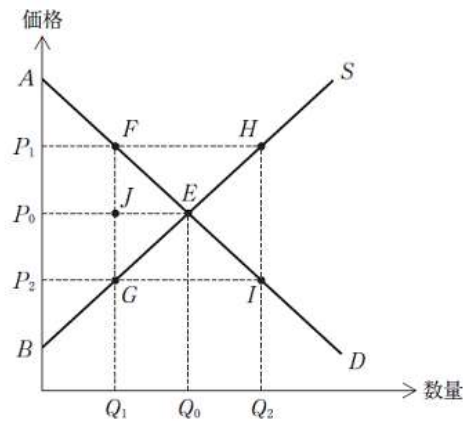
- ア 課税によって生じる負担は需要者(買い手)の方が重い。
- イ この財市場の需要曲線は、供給曲線に比べて価格弾力性が高い。
- ウ 三角形 ABD は、課税によって失う生産者余剰である。
- エ 線分 BC の長さは、課税によって生じる需要量の減少を意味している。

レベル 2

R2 第 12 問

下図では、需要曲線Dと供給曲線Sの交点Eに対応する生産量 Q_0 のもとで市場全体の経済余剰が最大化し、資源配分が効率的になる。反対に、 Q_0 以外の生産量では、資源配分は非効率的になる。

この図に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



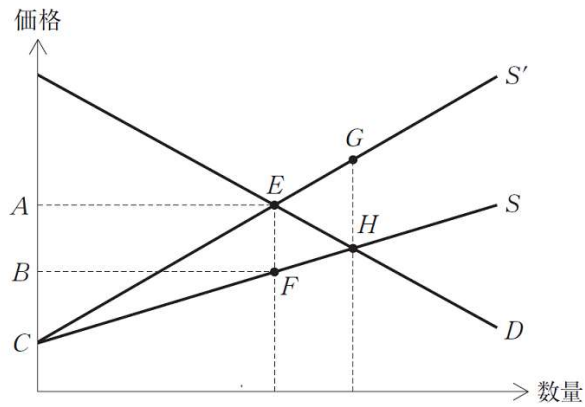
〔解答群〕

- ア 生産量が Q_1 のとき、点Eの場合と比べて、消費者余剰が三角形EFGの分だけ少なくなるので、資源配分は非効率的になる。
- イ 生産量が Q_1 のとき、点Eの場合と比べて、生産者余剰は四角形 P_1FJP_0 の分だけ多くなるが、総余剰では三角形EFJだけ少なくなるので、資源配分は非効率的になる。
- ウ 生産量が Q_2 のとき、点Eの場合と比べて、消費者余剰は四角形 P_0EIP_2 の分だけ多くなるが、総余剰では三角形EHIだけ少なくなるので、資源配分は非効率的になる。
- エ 生産量が Q_2 のとき、点Eの場合と比べて、生産者余剰が四角形 P_0EGP_2 の分だけ少なくなるので、資源配分は非効率的になる。

R2 第 19 問

下図は、ある財の需要曲線と供給曲線を描いている。Dはこの財の需要曲線、Sは課税前の供給曲線である。この財には、税率 $t\%$ で従価税が課されており、S'は課税後の供給曲線である。

この税による税収と超過負担の組み合わせを表すものとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



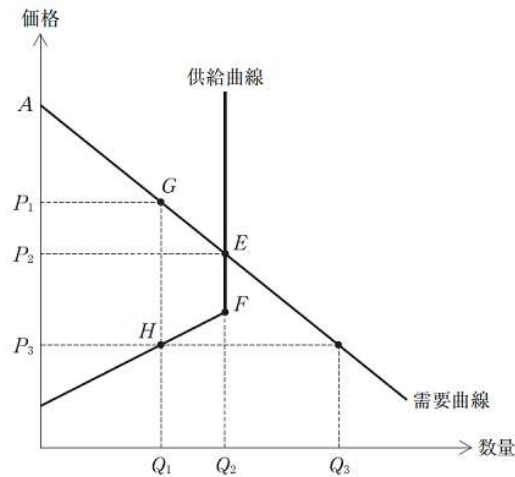
〔解答群〕

- | | |
|--------------|-------------|
| ア 税収：四角形ABFE | 超過負担：三角形EFH |
| イ 税収：四角形ABFE | 超過負担：三角形EHG |
| ウ 税収：三角形CEF | 超過負担：三角形EFH |
| エ 税収：三角形CEF | 超過負担：三角形EHG |

R1 第 11 問

下図は、供給曲線の形状が特殊なケースを描いたものである。座席数に上限があるチケットなどは、ある一定数を超えて販売することができないため、上限の水準において垂直になる。なお、需要曲線は右下がりであるとする。

この図に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

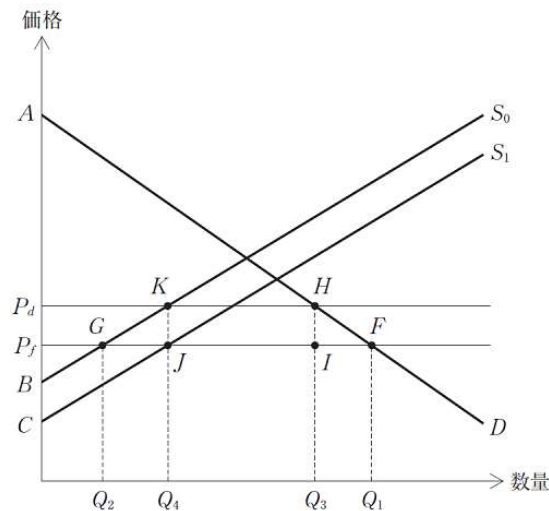


〔解答群〕

- ア 供給曲線が垂直になってからは、生産者余剰は増加しない。
- イ このイベントの主催者側がチケットの価格を P_1 に設定すると、超過需要が生じる。
- ウ チケットが P_3 で販売されると、社会的余剰は均衡価格の場合よりも $\square GEFH$ の分だけ少ない。
- エ チケットが Q_1 だけ供給されている場合、消費者は最大 P_2 まで支払ってもよいと考えている。

R1 第 18 問(2)

下図は、産業保護という観点から、輸入関税と生産補助金の効果を描いたものである。輸入関税をかける場合、この財の国内価格は P_f から P_d へと上昇する。また、生産補助金を交付する場合、この財の供給曲線は S_0 から S_1 へとシフトする。この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



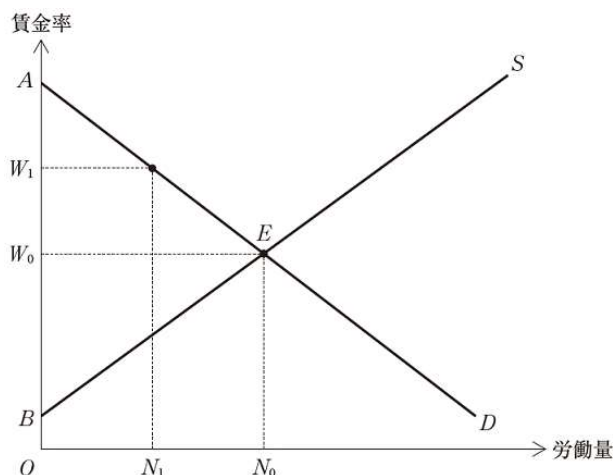
(設問 2)

輸入関税と生産補助金による社会的余剰の比較に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ア □BCJK の分だけ、生産補助金の方が輸入関税よりも損失が少なく、産業保護の政策としてより効果的である。
- イ □FGKH の分だけ、輸入関税の方が生産補助金よりも損失が少なく、産業保護の政策としてより効果的である。
- ウ △FIH と△GJK の分だけ、輸入関税の方が生産補助金よりも損失が少なく、産業保護の政策としてより効果的である。
- エ △FIH の分だけ、生産補助金の方が輸入関税よりも損失が少なく、産業保護の政策としてより効果的である。

H30 第 14 問

下図は、労働市場の需要曲線と供給曲線を示している。D は労働需要曲線、S は労働供給曲線であり、均衡賃金率は W_0 である。労働市場における所得分配に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

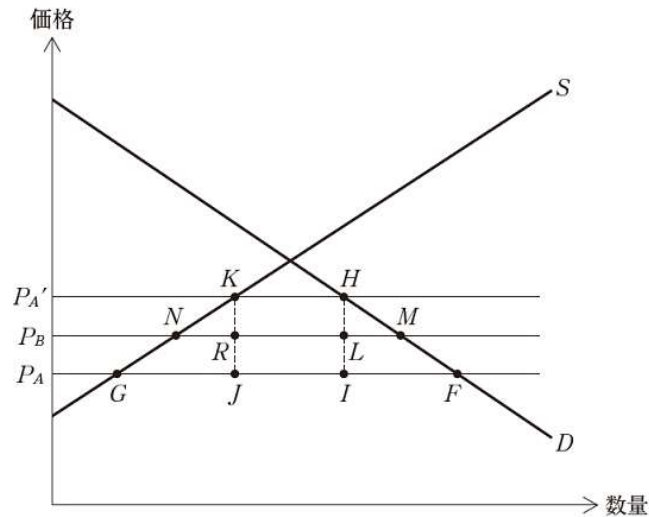
- ア 最低賃金率を W_1 に設定すると、市場均衡と比較して、企業の余剰は増加する。
- イ 市場均衡において企業が労働者に支払う賃金は□OBEN₀である。
- ウ 市場均衡における労働者の余剰は、△AW₀E である。
- エ 労働供給が増加すると、当初の市場均衡と比較して、企業の余剰は増加する。

H30 第 20 問

下図は、自由貿易地域の理論を描いたものである。自国が農産物の市場を開放し、貿易を行っている。A国から輸入される農産物の価格は P_A 、B国から輸入される農産物の価格は P_B とする。

当初、自国は、価格の低いA国から農産物を輸入し、その農産物には関税がかかっていた。そのときの国内価格は P_A' である。しかしながら、歴史的な背景から、自国はB国と自由貿易協定を締結した。その結果、B国からの農産物には関税がかからず、国内価格は P_B になるが、域外のA国からの農産物には関税がかかる。

この図に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

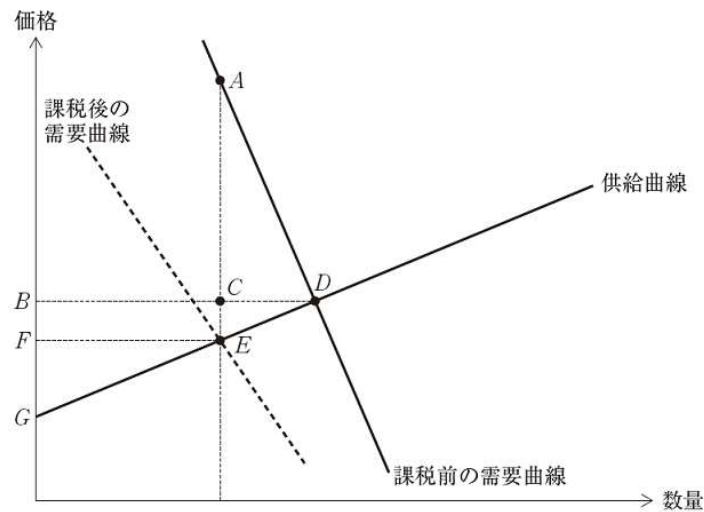


〔解答群〕

- ア 関税が賦課された価格 P_A' に比べて、自由貿易協定を締結した後の価格 P_B では、自国の消費者余剰は $\square HMK$ だけ大きくなっている。
- イ 自国がB国から農産物を輸入するときの国内の生産者余剰は、A国から農産物を輸入していたときの生産者余剰よりも $\square P_A G N P_B$ の分だけ小さくなる。
- ウ 自由貿易協定の締結によって、自国が失う関税収入は、 $\square H I J K$ である。
- エ 自由貿易協定の締結による貿易創造効果は、 $\triangle H L M$ と $\triangle K N R$ であり、貿易転換効果は、 $\square H L R K$ である。

H26 第 14 問

下図には、ある財市場における生産者の供給曲線と消費者の需要曲線が描かれている。ただし、当該財には税が課されており、課税前の需要曲線と、課税後の需要曲線とが示されている。この図に関する説明として最も適切なものを下記の解答群から選べ。



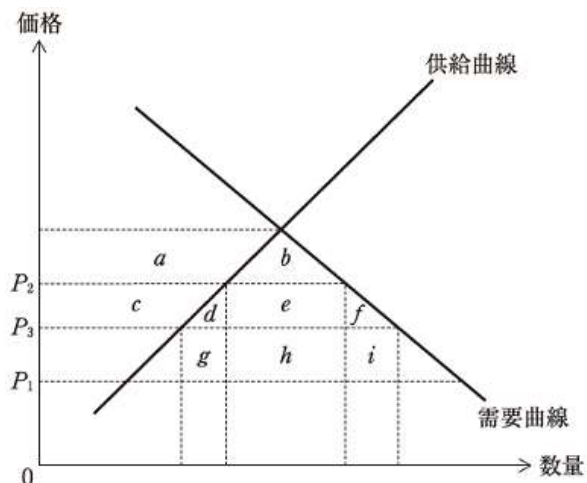
[解答群]

- ア 課税によって発生する死重損失のうち、消費者の損失分は BDG で示される。
- イ 課税によって発生する死重損失のうち、消費者の損失分は CDE で示される。
- ウ 需要の価格弾力性が相対的に小さいため、租税の影響は消費者への帰着がより大きい。
- エ 線分 BF は、消費者が直面する課税前の購入価格と課税後の購入価格の違いを示している。

H24 第 15 問

下図は、ある国の立場から、1つの財の市場のみに注目した部分均衡分析の枠組みを用いて、自由貿易協定の経済効果を示している。当該財の価格が P_1 である第Ⅰ国からの輸入に、この国では関税を賦課しており、関税賦課後の価格は P_2 となっていた。それが、第Ⅱ国と自由貿易協定を結ぶことによって、第Ⅱ国から価格 P_3 で当該財を輸入できるようになった。なお、図中の a～i は線で囲まれた範囲の面積を表すものとする。

第Ⅱ国と自由貿易協定を結ぶ場合、協定締結後のこの国の経済厚生は、締結前と比較して、どれだけ変化したか、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



[解答群]

- ア $c+d+e+f$
- イ $c+d+f-h$
- ウ $d+e+f$
- エ $d+f-h$

解答

SHEET5 余剰分析			
レベル 1	R3	23	エ
	R2	17	エ
	R1	10	ウ
	R1	18(1)	エ
	H30	10	ウ
	H29	10	イ
	H29	21	ウ
	H27	21	イ
	H26	21	ア
	H24	14	ア
レベル 2	R2	12	ウ
	R2	19	ア
	R1	11	ウ
	R1	18(2)	エ
	H30	14	エ
	H30	20	ウ
	H26	14	ウ
	H24	15	エ